

用語解説

[あ行]

ICT

Information and Communication Technology の略。(情報通信技術)

アクティブラーニング

教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加を取り入れた授業形態・学習法の総称。

アナフィラキシー

アレルギーのうちで、特に症状の激しいもの。薬物ショックなど。

アプローチカリキュラム

アプローチ期(幼児教育の最終段階である5歳児の後期)における教育課程・保育課程。

インターンシップ

学生に就業体験の機会を提供する制度。実際に企業に赴かせ、一定期間、職場体験をさせること。

ALT

Assistant Language Teacher の略。(外国語指導助手)

[か行]

学校評議員制度

公立学校の運営に保護者や地域住民の意向を幅広く取り入れるための制度。

教育課程特例校制度

学習指導要領等の教育課程の基準によらない特別の教育課程の編成・実施を可能とする特例制度。

コミュニティスクール(学校運営協議会制度)

保護者や地域住民と学校が一体となって学校運営の改善を図ることを目的として、学校運営協議会を設置する制度。

[さ行]

小1プロブレム

入学したばかりの1年生の教室において、集団活動が取れない、授業中に座ってられない、先生の話を受けない、物事をすぐにあきらめてしまう、など学校生活にうまく対応できない状態が続く学級として機能しないこと。

新体力テスト

文部科学省が国民の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得ることを目的に、毎年実施している調査

スクールカウンセラー

児童生徒のもつ様々な悩みの解消に向けて、学校内の相談室を中心に相談活動及び保護者や教職員に対する助言等を言う、臨床心理に関する専門的な知識・経験を有する臨床心理士等のこと。

スクールガード・リーダー

警察官OB等に委嘱し、学校の防犯体制及び学校安全ボランティア（スクールガード）の活動に対して専門的な指導を行う者。

全国学力・学習状況調査

文部科学省が全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること等を目的とした調査。（小学校6年生、中学校3年生の児童生徒を対象として行われる。）

[た行]

千葉県標準学力検査

千葉県内の小・中学校で行われている学力検査であり、各学年の児童生徒一人一人の学力の程度を客観的に把握するための指標。（小学校1年生から中学校3年生の児童生徒を対象として行われる。）

中1ギャップ

小学校から中学校に進学したときに、学習内容や生活リズムの変化になじむことができない現象。

[は行]

東日本大震災

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに伴って発生した津波、およびその後の余震により引き起こされた大規模地震災害のこと。

[ま行]

睦沢町子ども・子育て支援事業計画

子ども・子育て支援法の基本理念を踏まえ、すべての子どもたちが健やかに成長するための行動指針として定めた計画。（計画期間：平成27年度から平成31年度）

睦沢町 人口ビジョン

まち・ひと・しごと創生法に基づき、睦沢町における人口の現状と将来を展望し策定したものの。

睦沢町 まち・ひと・しごと総合戦略

「睦沢町 人口ビジョン」を達成するための今後5か年の施策を定めた計画。
（計画期間：平成27年から平成31年）